

## 第 69 回宇宙安全保障部会 議事要旨

### 1. 日時

令和 8 年 5 月 14 日（木）10:00~12:00

### 2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 大会議室

### 3. 出席者

#### (1) 委員

片岡部会長代理、青木委員、洗井委員、石井満委員、石井（由）委員（オンライン）、井筒委員、白坂委員（オンライン）、中須賀委員（オンライン）

#### (2) 事務局

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 風木局長、渡邊審議官、西野参事官、猪俣参事官、長谷参事官、奥田企画官

#### (3) 関係省庁

国家安全保障局 岡本審議官

内閣衛星情報センター 尾西調査官

総務省国際戦略局 扇課長

外務省総合外交政策局 安田主査

文部科学省研究開発局 田淵企画官

経済産業省製造産業局 高濱課長

防衛省防衛政策局 高橋参事官

#### (4) 有識者

宇宙航空研究開発機構第二宇宙技術部門 河田参与

### 4. 議事要旨

(1) 議題 1 「最新の状況について」、防衛省から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。

○ 防衛省・自衛隊においても宇宙人材の確保は重要な課題だが、民間企業においても人材確保には苦勞している。官民での連携により人材を育成していくべきではないか。

○ 衛星をはじめとする防衛力整備は 5 年単位で行われる一方、自衛隊の部隊編成に係る予算要求は前年や前々年に行われる場合が多い。企業側の予見可能性を高めるためにも、防衛省と民間企業の間で段階的に情報共有していくべきではないか。

(2) 議題 2 「宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項（案）について」、内閣府から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。

○ 中国において軌道上サービスに関する技術が非常に進んでいることの報道があった。軌道上サービスは今後重要な分野であり、工程表にも反映させていくべきではないか。

- 衛星光通信は極めて重要な技術であり、次の「三文書」においても衛星光通信に関して盛り込むか検討すべきではないか。
- (3) 議題3「衛星コンステレーションについて」、内閣府及び総務省から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。
- 衛星光通信に関しては、開発・実証の段階から、シーズ側とニーズ側が緊密に連携することが重要ではないか。
  - 光通信端末について、小型衛星にも積載できるサイズのもの現状海外企業に依存しているが、日本においても製造できる企業を育てていくべきではないか。また、各社の端末の互換性や標準化についても進めていくべきではないか。
- (4) 議題4「公共専用信号に関する検討状況について」、内閣府から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。
- 世界の特定地域においては、GPSに対するジャミングが常時観測されている。こうした中、「みちびき」の公共専用信号は極めて重要な役割を果たす。安全保障の観点では、無人機やミサイル防衛などにおいて、公共専用信号を積極的に利用することが重要ではないか。
- (5) 議題5「成長戦略における議論について」、内閣府から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。
- 民間衛星事業者では、JAXA施設の順番待ちなどにより、衛星の打上げが計画より遅れる事象が生起している。老朽化している施設の更新や射場の整備により、衛星の打上げまでの期間を短縮できるのではないか。
  - 宇宙戦略基金に係る衛星の打上げは国内ロケットを基本としている。ロケットの調達を民間事業者任せにするのではなく、国が確保して事業者に割り振るというのも一案ではないか。
- (6) 議題6「第4回宇宙交通管理に関する関係府省等タスクフォース大臣会合の開催について」、内閣府から資料に基づき説明した。
- (7) 議題7「GEOINT2026への参加結果について」、内閣府から資料に基づき説明した。
- (8) 議題8「スペースシンポジウム等への参加結果について」、内閣府から資料に基づき説明した。

以上